

5年生 「民泊体験」～北広島のよさを満喫しよう～

北広島町で進めている若者定住対策の一環として実施している「北広島ふるさと夢プロジェクト」に、町内の5年生が参加しました。今回のプロジェクトの目的は、「町内の自然を生かした体験活動や民泊等を行い、地域の方とのふれあいを通してふるさとの良さを実感させる」「町内の同学年児童による自然の中での共同体験を通して、課題解決する力や協働する力を養う」「養魚場でのつかみ取りや調理体験・登山等の活動を通して、町内児童間の親睦を図る」です。

5年生は、7月から、町内9小学校の児童が以下の3つのグループに分かれて、北広島町内での宿泊体験活動を行いました。1泊目は各校ごとに学校で、みんなで夕食を作り、宿泊しました。2～3泊目は民泊を行い、それぞれの期間で、共通の活動を行いました。民泊家庭での田舎暮らし体験・川魚つかみ取り体験・湿原トレッキングなどです。地域の自然体験を楽しんだり地域の方と交流したりするとともに、町内の児童の絆を深めることができました。プロジェクトの様子について、紹介します。

【グループごとの民泊の期間・活動地域等】

(A) 八重小・本地小・豊平小 (7月4日, 8月31日～9月2日)

■芸北文化ホール ■湿原トレッキング ■芸北大暮養魚場 ■芸北地域民宿等

(B) 芸北小・八重東小・大朝小 (7月11日～7月14日)

■芸北文化ホール ■湿原トレッキング ■芸北大暮養魚場 ■芸北・豊平・千代田地域民宿等

(C) 新庄小・川迫小・壬生小 (7月18日～7月21日)

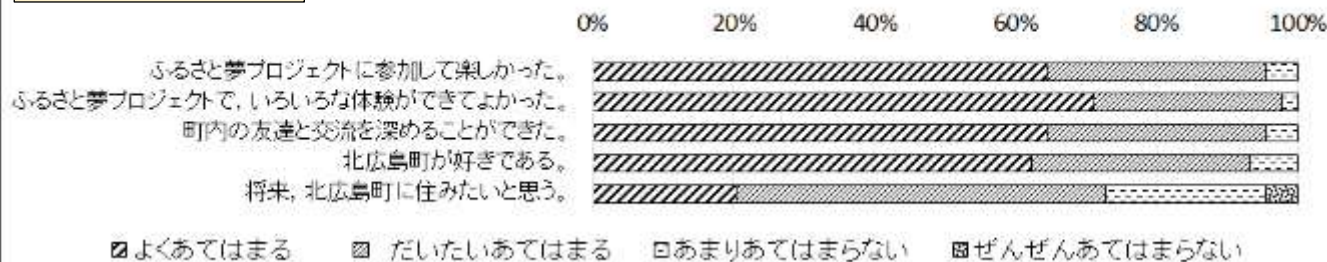
■芸北文化ホール ■湿原トレッキング ■芸北大暮養魚場 ■芸北・豊平地域民宿等



活動終了後に行った児童アンケートの結果を見ると、夢プロジェクトでいろいろな体験を楽しみ、北広島町のすばらしさを実感したり、友達と交流を深めたりすることができた児童や北広島町が好きと感じている児童がたくさんいました。また7割の児童が将来北広島町に住みたいと回答しています。

児童アンケートの結果

北広島ふるさと夢プロジェクト事業(5年) 児童アンケート



宿泊体験活動2日目

開会式 (Cグループ)



芸北文化ホールで、開会式と児童交流を行いました。グループ代表校長と参加児童の代表が挨拶をした後、各校の学校紹介を行いました。児童はこれから始まる体験活動に期待を膨らませていました。

児童交流会 (Aグループ)



他校の児童と仲良くなるために自己紹介ゲーム、輪くぐりゲーム等で交流し、お互いに名前を覚えて親睦を深めました。活動班の役割や目標を決める時にはお互いに意見を出し合って決めることができました。

対面式 (Bグループ)

対面式は、民泊家庭の方との初の顔合わせの場です。子どもたちは緊張した様子でしたが、それぞれのご家庭の方がとても温かく迎えてくださったおかげで、自然に笑顔が溢れました。これから始まる民泊家庭での生活がますます楽しみになる、素敵な時間となりました。



宿泊体験活動3日目

八幡湿原散策体験
(Aグループ)

八幡湿原ではトレッキングガイドの方から植物の説明を受けながら歩きました。普段、見ることのない植物に子どもたちは興味津々。落ちていた葉っぱを拾って袋に入れて持ち帰る姿も見られました。新しい発見ができた活動となりました。



田舎暮らし体験
(Bグループ)



民泊家庭では、薪割り体験や野菜の収穫、夕食作り等をさせて頂きました。食事のために一緒に竹を割ったり箸を作ったりする等の体験を通して北広島町のよさ、家族の温かさを感じました。

田舎暮らし体験
(Cグループ)

北広島町内のお宅に4~5人ずつ泊まらせてもらいました。ヤギに触ったり、畑で収穫した取れたての野菜で夕飯のカレーライスを作ったりしました。とっても楽しいひと時でした。おうちの人とも仲良くなり「もっと泊まりたい。」と思いました。



宿泊体験活動4日目

川魚つかみ取り体験
(Bグループ)



大暮養魚場でのアマゴのつかみ取り。「命をいただく」というお話、炭火の起こし方…常に考え知恵を働かせ続ける活動でした。アマゴのおいしさとともに知った火起こしの大変さ、そして命の重みは忘れられません。

閉会式 (Cグループ)



民泊家庭の皆さんをお迎えし、教育委員会の方も出席していただき、閉会式を行いました。代表児童が、心に残ったことやお世話になった皆さんへの感謝の思いを述べました。また、活動をまとめたビデオを鑑賞し、4日間を振り返りました。

お別れ式 (Aグループ)



民泊家庭ごとに集まり、お世話になった方々に最後のあいさつをしました。2泊3日という短い時間の中で、「人の温かさ」を存分に感じ取った子供達です。何物にもかえ難い体験をさせていただき、感謝と名残惜しさいっぱいのお別れとなりました。

児童の感想



体験活動をして・・・

- 八幡湿原のトレッキングでは、知らない花や木や草のことをたくさん学べた。他の人にも教えてあげたい。
- 川魚のつかみ取り体験で、命の大切さを知った。感謝の気持ちをこめて「いただきます」「ごちそうさま」を言いたい。
- 民泊で畑の野菜の種まきやお茶つみなどをした。自分たちで揉んで干したお茶はとてもおいしかった。 など

人との交流から・・・

- 民泊の家の方が、火の扱い方や料理の仕方など、将来、自分のためになることを教えてくださってうれしかった。
- 家族のように接していただき、すごく嬉しかった。あと1ヶ月くらいずっと泊まっていたいと思った。
- 登山でつらい時に、他の学校の友達と励まし合いながら登った。班の友達とも仲良くなって、また会いたいと思った。 など

変わったこと・・・

- 田舎暮らし体験で、自然のすばらしさや、収穫の喜びなどを味わい、芸北のよさがわかった。
- 今までは、家の人にしてもらうことがほとんどだったけど、今度からは人に頼らず自分のことは自分でしたい。 など

保護者の感想

- お手伝いがよくできるようになった。自分から積極的にやってくれるようになった。
- 普段出来ないことを体験し、自信と喜びで帰ってきた。精神的に少し強くなったのだと感じた。
- 民泊家庭の方のお世話になり、感謝する気持ちが増えたように思う。
- 親が声をかけなくても、やるべき事は自分で進んでできることが増えた。 など

【お礼】プロジェクト実施にあたっては、北広島町農山村体験推進協議会・民泊家庭等のご協力と共に、芸北大暮養魚場などいろいろな体験・見学場所の皆様にも、大変お世話になりました。ありがとうございました。